2025
No.076
4月号
April

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

AMG協議会ニュース
AMG News!

上尾中央医科グループ
AGEO MEDICAL GROUP

編集・発行人　AMG協議会総務部 広報室　https://www.amg.or.jp
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116
監修／(株)寿エンタープライズ　制作／(株)博愛社

埼玉上尾メディックス

チャンピオンシップ出場決定！

2024-25 大同生命SV.LEAGUE WOMENレギュラーシーズン全日程が終了しました。

埼玉上尾メディックスは、4月5日、6日のホームAstemoリヴァーレ茨城戦を終えレギュラーシーズンを27勝17敗で終えました。翌週の結果を待ち最終順位が確定となります。チャンピオンシップクォーターファイナルでは第3位のSAGA久光または第4位のデンソーとのアウェイを戦うことになります。

2024年10月から始まりましたレギュラーシーズンホーム22試合、たくさんのご来場・ご声援ありがとうございました！

4/6(日)、最終戦では佐藤優花選手が18得点の大活躍でPOMを受賞

レギュラーシーズンを終えて、大久保茂和監督よりご挨拶ならびにチャンピオンシップへ向けての意気込みを語りました。

山岸あかね選手がレギュラーシーズン通算300試合出場達成！
佐藤優花選手がレギュラーシーズン通算230試合出場達成！

佐藤優花選手が1月11日の SAGA 久光スプリングス戦で230試合出場を達成し、山岸あかね選手は4月6日の Astemo リヴァーレ茨城戦で300試合出場を達成しました！

佐藤選手の達成したレギュラーシーズン通算230試合出場は旧Vリーグでは、長期にわたって活躍している選手に表彰される栄誉賞に該当する記録です。

山岸選手は大卒選手で初の300試合出場を達成。女子では前人未到の記録を達成致しました。

2024-25大同生命SV.LEAGUE WOMEN 試合結果

節	日付	結果	対戦カード	
第10節	12/28(土)	●2-3	vs 東レ滋賀	
HOME	12/29(日)	○3-1		
第11節	1/4(土)	○3-1	vs 岡山	
HOME	1/5(日)	●1-3		
第12節	1/11(土)	●1-3	vs SAGA 久光	
HOME	1/12(日)	○3-0		
第13節	1/18(土)	○3-0	vs Astemo	
AWAY	1/19(日)	●0-3		
第14節	2/1(土)	○3-1	vs 姫路	
AWAY	1/12(日)	○3-1		
第15節	2/8(土)	●0-3	vs NEC 川崎	
HOME	2/9(日)	●1-3		
第16節	2/15(土)	●0-3	vs 刈谷	
AWAY	2/16(日)	○3-2		
第2節	2/22(土)	○3-0	vs 群馬	
HOME	2/23(日)	○3-0		
第17節	3/1(土)	●0-3	vs 大阪 MV	
AWAY	3/2(日)	○3-1		
第18節	3/8(土)	○3-1	vs A 山形	
HOME	3/9(日)	○3-1		
第19節	3/15(土)	●0-3	vs 東レ滋賀	
AWAY	3/16(日)	●2-3		
第20節	3/22(土)	○3-0	vs デンソー	
AWAY	3/23(日)	○3-1		
第21節	3/29(土)	●1-3	vs 大阪 MV	
HOME	3/30(日)	●1-3		
第22節	4/5(土)	●2-3	vs Astemo	
HOME	4/6(日)	○3-0		

※レギュラーシーズン最終成績27勝17敗
第6位 ※4月6(日)終了時点

埼玉上尾メディックス

12/28-29、1/4-5はBLACK WEEK！3rdユニフォームを初披露

2/9のNEC川崎戦では、今季最多の1333名が来場！
たくさんのご声援ありがとうございました！

新人選手の#8 山地梨菜選手がSV.リーグ初出場
#6 目黒選手に次ぐ16得点の活躍で華々しいデビューを飾りました

レギュラーシーズン最終戦を3-0のストレートで勝利を飾りました

CSR活動報告

埼玉上尾メディックス

上尾市功労賞を受賞

パリ2024オリンピック競技大会に出場した岩崎こよみ選手、山岸あかね選手が上尾市ゆかりの人物が国際的な活躍をした際に表彰される「上尾市功労賞」を受賞しました。12月28日(土)のホームゲームで上尾市・畠山稔市長より授与されました。

キッズエスコートに総勢440名のキッズが参加

2024-25大同生命SV.LEAGUE WOMENレギュラーシーズン全22試合のホームゲームでキッズエスコート実施。上尾市内を中心に一般公募で選ばれたキッズ（小学生）の皆さんに参加いただきました！

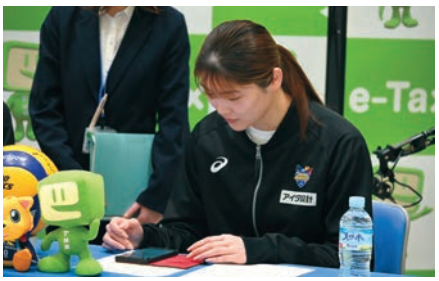
SV.LEAGUEの公式コートでバレーボール体験会を開催！

普及部の内瀬戸真実さん、井上美咲さんを中心に、毎試合後に実際のコートを使ってバレーボール体験会を開催しました。

初心者向けからママさんバレーボーラーまで幅広い年齢層や、トスやサーブレシーブなどの専門的な技術講習まで指導させていただき、参加者の皆様には大変好評いただきました！

上尾税務署・確定申告PRイベントにゲスト参加

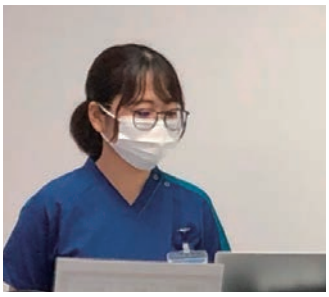
2月3日にイオンモール上尾にて開催された確定申告PRイベントに岩崎こよみ選手、黒後愛選手がゲスト参加し、e-taxを使ったスマホ申告体験やチャットボットの利用方法を紹介しました。

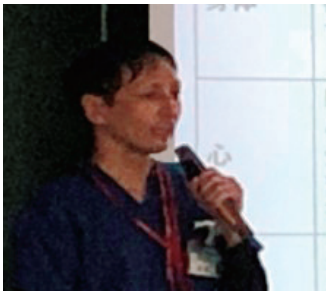


ソーシャルワーカー部

未来のソーシャルワーカーをサポート 出張授業報告

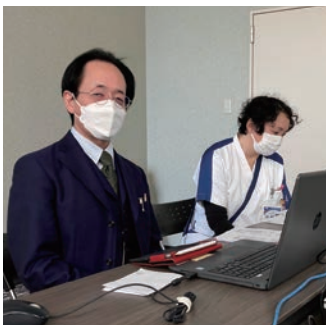
社会福祉を学ぶ学生を対象に、ソーシャルワーカー（以下SW）が出張授業を実施。医療介護業界で活躍する福祉職の役割、意義など多岐に渡る講義を実施。1校目講師は北川さん（八潮中央）。2校目講師は西尾さん（三郷中央）、原島主任（吉川中央）、橋本課長（船橋）、杉山課長（CC習志野）。3校目講師は牛島課長（柏）。2025年度も複数の大学から依頼を頂き、開催予定です。私達SW部は、今後も各学校と協力し、未来のSWサポートに努めます。





SW部 実習管理部門「実習指導者等意見交換会」開催報告

2024年12月20日（金）「実習指導者等意見交換会」をハイブリット形式で開催致しました（参加者26名）。養成校である首都医校・有賀先生をお招きし、『現場実習・指導に期待すること』をテーマに講演いただきました。また、三郷中央総合病院とケアセンター習志野より現場での実際や取り組み、具体的なプログラムに関する報告も行いました。グループワークでは悩みや課題を共有することができ、有意義な意見交換会となりました。今後も指導者同士や養成校との連携を深め、多くの学びの場が提供できるよう体制を整える必要性を改めて感じました。



滝沢（津田沼）/鈴木（上尾平方包括）/河合（上尾）/白井（三郷）/大貫（横浜鶴見リハ）

ソーシャルワーカー部

「クライエント支援のためのメゾレベルのソーシャルワークを学ぶ」研修開催

2025年1月24日、専門シリーズ研修③「クライエント支援のためのメゾレベルのソーシャルワークを学ぶ」を開催しました。昨年に引き続き、社会医療研究所ソーシャルワーク・アドバイザー、武蔵野大学大学院非常勤講師、日本医療ソーシャルワーカー協会副会長としてご活躍の原田とも子先生を講師にお迎えしました。3回目にして初めての集合型修となり、データ分析やプレゼンテーションを行うことの重要性、そのプロセスについての講義や、業務改善のテーマ探しのグループワークを行いました。活発な意見交換が行われ、学びを深めると共に参加者同士の交流にも繋がりました。

（萩原/さがみ、笠石/ＨＣ横浜小雀、唐橋/ＣＣ八潮、玉城/笠幡、久住/吉川）

第2回 老健支援相談員チーフ・代表者WEB会議 開催

2月13日、老健支援相談員チーフ・代表者WEB会議を開催。AMG学会発表演題(三郷ケアセンター三浦主任)を共有。グループワークにて各施設での広報活動について情報共有し、SNSやホームページの活用方法を議論。効果的な広報活動について意見交換をおこないました。

（初鹿/ＨＣ流山、髙橋/ＨＣ東大宮、飯田/ＨＣ左近山、顕川/エルサ）

リハビリテーション部

認定理学療法士って何？

日本理学療法士協会が定める認定理学療法士制度は、より高い専門性を兼ね備えることを目的とした制度です。臨床実践分野において秀でている理学療法士を育成するため、認定看護師教育を模倣した仕組みです。認定分野は脳卒中/ 運動器/ スポーツ/ 地域理学療法/ 介護予防/ 管理・運営/ 学校教育など22 分野あります。

AMGは日本理学療法士協会が認定する認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関！

登録理学療法士が認定理学療法士になるためには、以下3つが申請要件となります。

① 指定研修カリキュラム受講
② 臨床認定カリキュラム受講
③ 日本理学療法学術研修大会参加

このうち、②臨床認定カリキュラムを提供する教育機関が全国から公募されており、AMGリハビリテーション部門も2023年度より脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として、2024年度より運動器認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として認可されています。

カリキュラムの特徴

特徴1 講義担当者は全てAMGの脳卒中/運動器認定理学療法士が務めています!

特徴2 オンデマンド講義主体
学習者の都合に合わせて学べます!

特徴3 実技研修を1日間に集約
上尾中央医療専門学校にて対面開催!

脳血管カリキュラム2期生

運動器カリキュラム1期生

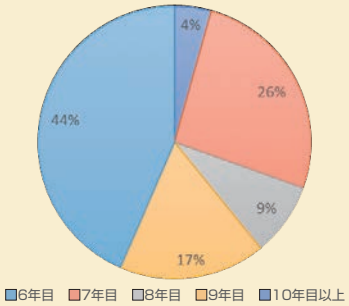
登録理学療法士の皆様へ2025年度開講予定のご案内

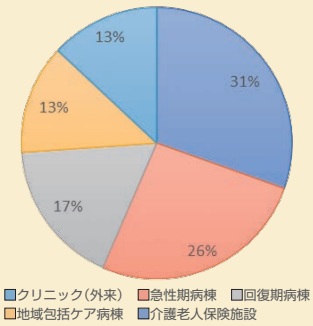
継続 脳卒中認定理学療法士臨床認定カリキュラム2025　4月より募集開始予定
継続 運動器認定理学療法士臨床認定カリキュラム2025　5月より募集開始予定

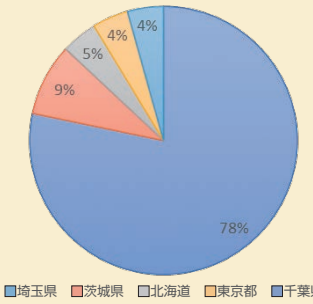
リハビリテーション部

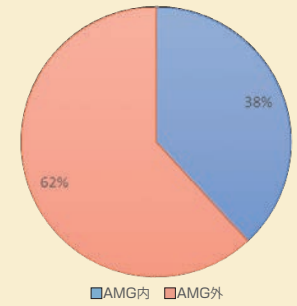
受講者データ

様々な病期に従事する、経験年数豊富なPTに選ばれています。
AMG外から受講者もおり、北海道からの受講者も！

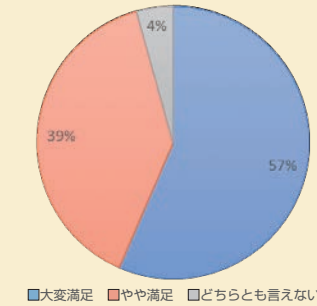


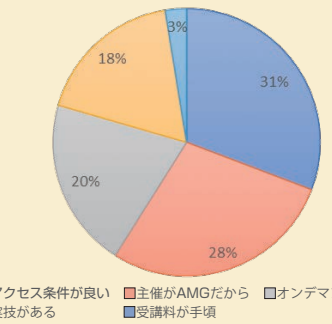






受講者の声





上尾中央医科グループ
医療の質向上委員会

お問い合わせ先 | AMQI事務局（上尾中央総合病院 組織管理課）e-mail ▶▶▶ omr@ach.or.jp

AMQI
The AMG Committee of Medical Quality Improvement

連載 第67回 「ご存知ですか？RMP」

皆様、RMPという言葉をご存じでしょうか？RMPとはRisk Management Planの略で、日本語名は、医薬品リスク管理計画書となります。日本語名を見ても、いまいちよくわかりませんね。簡潔に申し上げますと、「添付文書には書かれていない薬の副作用として発生する可能性がある症状が書かれているもの」です。添付文書は、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。医薬品を使用する際に活用する情報源として最もポピュラーな媒体かと思われます。RMPを理解するためには、添付文書との違いを考えるとわかりやすいと思います。医薬品の治験（安全性や有効性について確認すること）の際に、医薬品との因果関係が確認できたリスクもあれば、関連は疑わしいが十分に確認しきれないリスクもあります。添付文書はこの内、因果関係が確認できたリスクのみ記載されています。しかしながら、治験は、症例数が限られています。そのため、十分に確認しきれないリスクも医薬品として承認後に副作用として発生する可能性はゼロではないのです。このような添付文書には記載されないが関連が疑わしいリスクが記載されているものがRMPであり、この活用が求められています。2024年度の保険薬局の診療報酬改定にて「RMPに基づく指導」が明記され、RMPの利活用が大きく前進しました。

我々、AMG薬剤部でも、添付文書のみではなく、RMPの情報も活用して、患者さんの医薬品による副作用の未然回避や早期発見に努めて参ります。

薬剤部会　岡平 将志

合格者紹介～認定看護管理者・認定看護師～

看護本部

2024年度認定看護管理者・認定看護師 認定審査に合格された方のご紹介をいたします。

認定看護管理者

施設名	氏名
船橋総合病院	日向 早苗
勝田病院	横須賀 由紀恵

認定看護師

施設名	氏名	認定分野	課程
上尾中央総合病院	佐藤 知明	感染管理	B
	持田 ふみ	慢性心不全看護	A
白岡中央総合病院	松本 早苗	感染管理	B
浅草病院	山田 大代	感染管理	B
彩の国東大宮メディカルセンター	大熊 知子	がん化学療法看護	A
金沢文庫病院	倉本 君栄	認知症看護	B
三郷中央総合病院	松本 佳子	認知症看護	A
	井口 智明	皮膚・排泄ケア	B
	今井 和弘	摂食嚥下障害看護	B
伊奈病院	寺坂 千里	感染管理	B

（敬称略）

～合格者より～

船橋総合病院 看護部長 **日向 早苗**

合格発表はドキドキでしたが無事に合格できたことにホッとしております。

私はサードレベルの研修学校に週末、神奈川県まで通い、“ぶれない看護観を持ち、看護師でなければできないこと”を考え、学ぶことができました。

看護管理者として、これからの時代に求められる看護職や多様なニーズに応えられるようにすること、職員が働き続けられるように個々のライフステージに合わせた働き方だけでなく、自分がやりたいことを学び、学んだことを形にして活躍できるようにしていきたいと思います。

三郷中央総合病院 **今井 和弘**

私が摂食嚥下障害看護の認定看護師を目指したきっかけは、食事摂取量が少なくなっている入院患者さまが、どうしたら食べられるようになるのか、看護師として何かできることはあるかと悩んだことが動機です。

資格取得に関しては、沢山の方々にサポートしていただき、無事に認定看護師になることができました。まだスタートラインに立ったばかりですが、学んだことを、患者さまやスタッフの皆さんへ還元していく決意です。

「看護実践能力習熟段階到達のための学習ガイドブック」が完成しました！

（本書は2022 年発行の『看護クリニカルラダー到達のための学習ガイドブック』の改訂版です）

本書は，2022年３月に看護本部において編集した『看護クリニカルラダーレベルの到達のための学習ガイドブック』を改訂したものです。2023年に日本看護協会（以下，JNA）から公表された「看護職の生涯学習ガイドライン」が大きく改訂されたのを機に、AMGでも新たに「看護実践能力習熟段階」の見直しを行いました。

本書の構成は、「看護実践能力に基づく学習項目」に示されている、「知識や考え方」、「関連するガイドラインや資料」を参考に、JNAから示されている内容に準拠する形で構築しました。

AMGで勤務する皆様が、eラーニング（エルゼビア・ジャパン㈱：ナーシングスキル）を用いて学習する際に、併用してご利用いただける学習ガイドブックとなっておりますので、是非ご活用ください。

『看護実践能力習熟段階到達のための学習ガイドブック』

編　　集　上尾中央医科グループ協議会　看護本部看護教育部

編集協力　三須　真紀　（上尾中央医科グループ協議会 看護本部 看護局長）
島尻　美恵　（上尾中央医科グループ協議会 看護本部教育部 部長）
花澤　由紀子（上尾中央医科グループ協議会 看護本部教育部 科長）

執筆（五十音順）　大山　美和子（医療法人社団協友会 八潮中央総合病院 看護部長）
島尻　美恵　（上尾中央医科グループ協議会 看護本部教育部 部長）
花澤　由紀子（上尾中央医科グループ協議会 看護本部教育部 科長）
三須　真紀　（上尾中央医科グループ協議会 看護本部 看護局長）

表彰者紹介

『令和６年度相模原市保健衛生功労者表彰』

AMG Nursing Team

さがみリハビリテーション病院　看護部長　**島　早苗**

この度、神奈川県看護協会相模原支部等からご推薦いただき、令和６年度相模原市保健衛生功労者表彰を賜りました。ご指導・ご支援いただいた職員や地域の皆さまのおかげで看護師として31年勤めることができ、大変感謝しております。今後もますます地域医療や保健衛生の推進に努めてまいります。

キャリアサポートセンター

研修申込期間中！

※2025年度キャリアサポートセンター研修一覧抜粋

研　修　名	日程および期間	定員	受講料（税込）	申　込　期　間	選考通知
NEW 認定看護管理者教育課程 サードレベル※1	(2026年) 7月2日(水)～2月28日(土) 原則 週2日程度（10～12月は自己学習期間）	30名	300,000円	4月1日(火)～4月30日(水)	6月上旬
看護学生実習指導者講習会	7月1日(火)～11月11日(火) eラーニングを含む	100名	50,000円	4月1日(火)～4月30日(水)	5月下旬
NEW 特定分野における 看護学生実習指導者講習会※3	7月1日(火)～10月23日(木) eラーニングを含む オンライン講義2回程度 演習3回あり	30名	25,000円	4月1日(火)～4月30日(水)	5月上旬

※1　一部対面研修　※3　対象者：①看護師として3年以上の実務経験がある方②病院以外の施設で実習指導の任にある または その予定がある方

5月から研修申込みがはじまります！

研　修　名	日程および期間	定員	受講料（税込）	申　込　期　間	選考通知
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	8月15日(金)～12月20日(土) 原則 週2日／金・土曜	50名	210,000円	5月1日(木)～5月31日(土)	7月上旬

感染管理認定看護師教育課程（B課程）より

2023年度修了生　認定看護師認定審査合格！

2024年3月に6名全員が修了式を終え、10月認定看護師認定審査を受験しました。この審査に合格しなければ認定看護師として活動することができません。

12月24日に合格発表があり、6名全員合格することができました！6名のうち2名がグループ所属（上尾中央総合病院、伊奈病院）となります。今後の活躍を期待してください。

2024年度 修了式を終えて

4月から始まった特定行為研修、9月から感染管理の専門科目の学びを深め、臨地実習・統合演習・修了試験と「人生でこんなに学習したことがない」と言ってしまうくらい、過酷な1年を乗り越え、3月21日に9名が本課程を修了することができました。認定審査の受験までセンターでは支援してまいります。

2025年度 受講生について

4月10日は開講式です。6名の受講生を迎え、1年間共に楽しく学んでまいります。

一般社団法人　上尾中央医科グループ協議会
キャリアサポートセンター
【所在地】〒362-0036
埼玉県上尾市宮本町10-29
AMG学習館3階

【お問い合わせ】上尾中央医科グループ協議会　看護本部
（平日）8:30～17:30　（土曜）9:00～12:00
TEL 048-771-7765　Mail csc@amg.or.jp
URL https://amg.or.jp/career_support/

栄養部

2024年度 リフレッシュ研修 第1回

栄養部では、離職防止、横のつながりを持ちながら心身ともにリフレッシュでき、モチベーションアップにつなげることを目的として、リフレッシュ研修を行っています。

2024 年度の第1回は AMG 在職 4 年目を対象とし、バスを借りて、ナリコマグループの関東セントラルキッチン（神奈川県伊勢原市）にて、『院外調理済食品について』の講義、工場見学、グループワークを行ないました。

大きく広い建物の中で、最新の調理機材を駆使し、均一な調味、水分管理、IT による衛生管理の徹底の実際を見学し、その優れた技術力に圧倒されました。昼食には試食をし、魚料理や肉料理、デザートのゼリーやカップケーキまで、どれも良い味付けで、おいしいと皆、好評価でした。

2024年度 リフレッシュ研修 第2回

第2回はサブチーフ、チーフ候補と言われる職員を対象とし、こちらもバスを借りて、午前は株式会社フジマックの埼玉ショールーム＆テストキッチン（埼玉県鶴ヶ島市）にて、『ニュークックチル、チルご飯の作り方、再加熱カート加熱条件等について』の講義、試食を行ないました。また「自施設での給食運営の課題と改善策を考える」をテーマにグループワークも行ないました。

午後はバスで日高市にある弓削多醤油株式会社の醤遊王国に移動して工場見学を行ない、その後は川越市の菓子屋横丁に移動して散策を行ない、解散としました。

実施後アンケートより、「ニュークックチルについて理解を深めることができた」「他病院、他施設の栄養科の話を聞いたり、相談できて良かった」などの意見をいただいた一方、スケジュールが過密過ぎたせいか、「もう少しゆっくり話せる時間が欲しかった」「グループワークの時間がもっとあったらよかった」という意見もありました。参加者がサブチーフ、チーフ候補者であったため、日頃の悩みをお互いにもう少し話せる時間が必要だったと感じましたので次年度の計画、企画に活かしていこうと考えています。

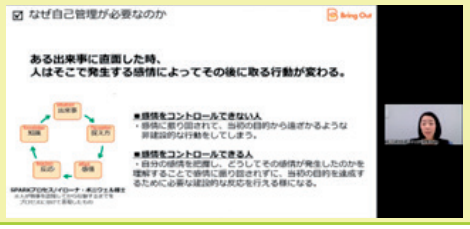
三郷ケアセンター　山崎　綾

AMG階層別ノンテクニカル研修会 開催のお知らせ

人財開発室

係長以上全体研修会
係長以上全体研修会フォローアップ

2025年 6月25日(水) 15:00～16:30



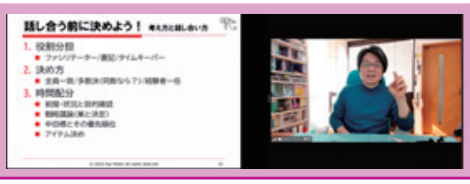
テーマ
レジリエンスを高め、健やかに働く（仮）

目　的
心の健康を支援し、より前向きに仕事に取り組めるようになる

- **講師** 株式会社ブリングアウト 代表取締役　萩原 綾子 氏
- **場所** オンライン（Zoom）
- **対象** 係長以上の全職員（全職種）※理事・運営委員も対象 ※チーフ職の主任も参加可
- **内容** ストレスマネジメント、レジリエンス（仮）

主任職初任者研修会

①2025年 5月20日(火) 13:30～17:30
②2025年 5月27日(火) 13:30～17:30
③2026年 2月 3日(火) 13:30～17:30

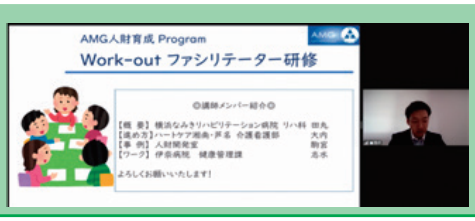


目　的
主任に求められる役割認識と思考能力の醸成
～重要思考基礎～決める力と伝える力

- **講師** 金沢工業大学　虎ノ門大学院 教授　三谷 宏治 氏
- **場所** オンライン（Zoom）
- **対象** 2025年1月以降の主任職初任者（全職種）
  2024年4月～2024年12月主任職初任者のうち未受講の方
- **内容** 主任に求める能力　重要思考基礎「決める力と伝える力」

ワークアウト ファシリテーター研修会

2025年 6月19日(木) 13:30～17:30



目　的
AMGのワークアウトを盛り上げる人財を継続的に育成する
①ワークアウトの基本と仕組みを学ぶ
②問題解決の手法を身につける

- **講師** 過去の同研修会受講者によるプロジェクトチーム
- **場所** オンライン（Zoom）
- **対象** 今後のワークアウト大会にてファシリテーターを務める者または予定者
- **内容** 本質的な業務改善を進める手段として、ワークアウトの基本と仕組み、問題解決の手法を学ぶ。

中途入職者研修会

オンデマンド配信

目　的
AMGの理解とAMG職員・医療従事者としての心得

- **場所** AMGポータル
- **対象** 中途入職した職員・常勤へ身分変更した職員、これまで未受講の方
- **内容** AMGの紹介、
  AMG職員・医療従事者としての心得

オンライン学習　～ produced by AMG ～

事務部会

E-JIMU
E-learning

自部署と他部門の知識を向上させる

- **目　的** ・自部署と他部門の知識をバランスよく身につける
  ・自身のキャリアパスで経験していない部門の知識を向上させる
  ・AMG職員がAMG職員のためにコンテンツを作成し、
  互いに教えられる環境をつくる
- **コンテンツ内容** 医事・財務・総務・在宅/介護・診療情報・健康管理
  地域連携・医師事務・web/IT・業務支援
- **特　長** AMGポータルから入り、いつでもどこでも学習可能

JIMUサロン
毎月1回ライブ開催

ノンテクニカルスキルを向上させる

- **日　程** 毎月1回　平日18:00以降～
- **開催方法** オンライン（Zoom）
- **対　象** 事務職（医療マネジメント職）・全職種
  部署・役職は問わない
- **内　容** 外部講師や知識豊富な講師より、様々なノンテクニカルスキルを学ぶ
- **過去のテーマ** 目標管理、フィードバック、プレゼンテーション、
  職場コミュニケーション、タイムマネジメントなど

臨床工学部

2024年度年間学術活動報告

2024年度も多数の学術活動報告がありました。学会での演題発表はもちろん、座長や研究会等でのコメンテーター、雑誌への執筆活動など多彩な活動がありました。一つひとつは紹介しきれませんが、一覧としてお届けいたします。

※2024年1月末時点

病院・施設名	学会・研究会名	活動分類	氏名	演題名・活動内容
上尾中央総合病院	第69回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	戸田 帝人	クリニカルラダー受講状況のアンケート調査
	第34回日本臨床工学会	演題発表	青木 暢	スパイグラスデジタル内視鏡に人工心肺用コネクタを用いた吸引圧比較実験
	第70回日本不整脈心電学会学術大会	演題発表	泉 千尋	Rate response機能がHeart Rate ScoreとAT/AF新規発症に与える影響
	第49回日本体外循環技術医学会大会	演題発表	米澤 司	脳分離体外循環における二又分岐回路で異径カニューレの使用が送血流量に与える影響について
	第37回日本内視鏡学会総会	演題発表	前田 一樹	da Vinci Surgical System導入から10年を経ての軌跡
	第70回日本不整脈心電学会学術大会 MP教育講演	講演	泉 千尋	植込みデバイスの頻拍治療設定を極める!!　心房ATP
	第65回全日本病院学会	演題発表	渡邉 文武	臨床工学技士によるデバイス選定が血管造影室コスト削減に繋がった取り組み
	第4回関東甲信越臨床工学会	演題発表	鈴木 亜久里	当院のアクティブコード断線対策の取り組み
		演題発表	上倉 里奈	当科の2023年度教育ラダー改訂と評価について
	第64回 CVIT関東甲信越地方会	コメンテーター	渡邉 文武	会長企画 3【新しい働き方とチームビルド】（メディカルスタッフセッション）
	2024 年度第 1 回関東甲信越地方会勉強会	講演	青木 暢	シンポジウム演者「心筋保護法」
	第3回日本不整脈心電学会　関東甲信越支部地方会	演題発表	泉 千尋	右肺静脈隔離にEpicardial Connectionへの通電を要した症例における右房および左房activationの検討
	第34回埼玉臨床工学会	座長	米澤 司	一般演題【循環器・呼吸器】　座長
	第11回 埼玉心血管コメディカル研究会	座長	渡邉 文武	運営・座長
		講演	新関 大喜	デバルキングデバイス
	基礎教育セミナー	演題発表	泉 千尋	左脚後枝領域起源のPVCに対してHV間隔を用いてPVC起源を推定した1例
	第63回埼玉不整脈ペーシング研究会	演題発表	泉 千尋	V on Aを呈したNV-ORT mimicking slow-fast AVNRTの1例
	第15回埼玉アクセス研究会学術集会	演題発表	服部 伸吾	臨床工学技士のシャント血管穿刺技術の改善を求めて
	2024 TOKYO LIVE Demonstration	コメンテーター	渡邉 文武	TOKYO Live ライブレポーター(中継施設)
			中野 信二	
			永原 雅司	
			新関 大喜	
			福島 航太	
	KOKURA LIVE2024　アブレーションライブ	コメンテーター	泉 千尋	
	SAITMA ME LIVE -さいたまスーパーアリーナ-	講演	渡邉 文武	PhysiologyをPCIに活かすために
		座長	渡邉 文武	運営・座長
	SMASH定例会「MCS徹底攻略」	座長	渡邉 文武	運営・座長
		コメンテーター	米澤 司	「MCS徹底攻略」ビギナーズセッション　コメンテーター
			福島 航太	
	ｶﾃｰﾃﾙｱﾌﾞﾚｰｼｮﾝ関連秋季大会2024	演題発表	泉 千尋	RHYTHMIAシステムにおけるLATとLUMIPOINTの組み合わせによるgap/チャネル診断能
	第14回豊橋ライブ	教育	泉 千尋	"コメディカルコース アブレーション入門編！より良いアブレーション環境を目指して ～他施設から学んでみよう～"
	第15回循環器セミナー	司会	米澤 司	講演2「SHDに対する低侵襲カテーテル治療 最新の情報と今後の展望」
	Clinical Engineering 2024 Vol35 No11	執筆	泉 千尋	心室除細動から心房除細動へ／ペースメーカ外来から遠隔モニタリングへ
	"日本人工臓器学会編集委員会監修人工臓器治療の落とし穴"	執筆	青木 暢	「人工臓器治療の落とし穴」9.心筋保護の落とし穴　a.注入ライン内多量空気の出現、c.心筋保護液が多量に残血に混入、d.逆行性心筋保護の圧調整を誤った
三郷中央総合病院	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	坂巻 裕介	下肢末梢血管内治療中における血流評価の比較
		演題発表	鈴木 萌果	ネーザルハイフロー機器の稼働率による酸素センサの性能評価
	第４回関東甲信越臨床工学会	演題発表	木村 勇人	AMG臨床工学部ME研究会広報WG活動報告
	第34回埼玉臨床工学会	コメンテーター	石川 博基	CEの新たなワークライフバランス　家族と仕事の在り方

2024年度年間学術活動報告

臨床工学部

※2024年1月末時点

病院・施設名	学会・研究会名	活動分類	氏名	演題名・活動内容
彩の国東大宮メディカルセンター	第34回日本臨床工学会	演題発表	中山 有香	スコープオペレーターは突然に！～管理者としての関わり方～
		演題発表	矢作 麻結	スコープオペレーターは突然に！～現場の目線から初症例までの道のり～
	第26回日本医療マネジメント学会	演題発表	中山 有香	スコープオペレーターは突然に！～管理者としての関わり方～
		演題発表	矢作 麻結	スコープオペレーターは突然に！～現場の目線から初症例までの道のり～
	第45回日本アフェレシス学会学術大会	演題発表	高杉 修平	当院における腹水濾過濃縮再静注療法の落差式とポンプ式での総蛋白・アルブミン回収率と発熱の発生率の比較
	第74回日本病院学会	コメンテーター	中山 有香	ミニシンポジウム　日本病院会QIプロジェクトの効果と全国展開
	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	五位野 麻衣	アラーム減少に向けての取り組み
		演題発表	菅波 千紘	手術室内視鏡関連機器の修理件数・費用削減に向けた臨床工学技士による取り組み
	第4回関東甲信越臨床工学会	演題発表	原田 夕寿	上尾中央医科グループ内の施設間交流を目的とした勉強会の取り組み
		演題発表	小原 将太	血液浄化センター災害チームの活動報告
		演題発表	中山 有香	スコープオペレーター介入に向けての管理者としての関わり方
		演題発表	落合 優斗	当院における腹水濾過濃縮再静注療法の落差式とポンプ式での総蛋白・アルブミン回収率と発熱の発生率の比較
	第34回埼玉臨床工学会	演題発表	矢作 麻結	パネルディスカッション「過去の業務参入経験から学ぶ、新規業務開始のいろは」パネリスト　スコープ業務について発表
		演題発表	中山 有香	パネルディスカッション「働き方改革～勤務体制の工夫～」パネリスト　当院の勤務体制を発表
		演題発表	上村 祐太	上尾中央医科グループ臨床工学部ME研究会広報ワーキンググループ活動報告
		演題発表	小島 柊也	当院の臨床工学科　男性初の育児休業を経験して～アンケートから育児休業を取得しやすい環境を考える～
		演題発表	原田 夕寿	上尾中央医科グループ内の施設間交流を目的とした勉強会の取り組み
		演題発表	落合 優斗	当院における腹水濾過濃縮再静注療法の落差式とポンプ式での総蛋白・アルブミン回収率と発熱の発生率の比較
		座長	上村 祐太	一般演題「ワークライフバランス・施設連携」
		座長	中山 有香	ワークショップ「CEの新たなワークライフバランス～家族と仕事の在り方～」
	埼玉県臨床工学技士会　会誌	執筆	中山 有香	「CEインタビューリレー」働くパパ・ママ奮闘記
	全日本病院協会雑誌 Vol.35-1 2024	執筆	矢作 麻結	"手術室ME機器の安全管理と保守点検の確立 ～修理費用削減に向けた臨床工学技士からのアプローチ～"
八潮中央総合病院	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	鶴田 穂香	当院における手術支援ロボットda Vinci Xi導入に向けた取り組みについて
蓮田一心会病院	第69回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	星野 匡也	フィラピー治療によるシャント血流量増加・PTA周期の延長の検証
		演題発表	森田 望	ミゼアセーフを使用した当院の抜針予防への取り組み
	埼玉県透析アミロイド症WEB講演会	コメンテーター	水上 将太	ディスカッション：各施設における透析アミロイドーシス治療の現状（β2吸着カラム）
伊奈病院	第34回日本臨床工学会	演題発表	神谷 龍彦	"ソフトウェア・サービス社製電子カルテシステム　ME機器管理ソフトの導入報告 ～運用開始を経験して～"
	第69回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	神谷 龍彦	酸素飽和度変化監視機能を用いた透析患者における睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング
白岡中央総合病院	第34回日本臨床工学会	演題発表	森本 瑠希	新人教育にラダーを用いた現状報告と今後の課題について
	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	門井 聡	出前授業を通した小学生へのキャリア教育活動報告について
		演題発表	川鍋 幸村	Excelを用いた医療機器貸出システムの運用と今後の課題
東川口病院	第69回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	岡本 拓晃	透析中の運動療法による血圧の変化と運動評価の変化
千葉愛友会記念病院	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	中田 優也	個人機を使用した出張透析について　～病室でもいつも通りの透析を～
柏厚生総合病院	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	戸本 和博	上尾中央医科グループ　血管造影室ワーキンググループ活動報告　No.3
	関東甲信越　CART研究会	演題発表	大西 健人	腹水濃縮において苦労した症例
津田沼中央総合病院	第34回日本臨床工学会	演題発表	林 伸哉	VA管理におけるタスクシフト・シェアの取り組み
船橋総合病院	第69回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	野村 拓史	シン災害対策～血液ポンプの手動操作を含む訓練の有用性の検討～
勝田病院	第69回日本透析医学会学術集会・総会	演題発表	清水 智恵	シールタッチカニューラGAの評価検討
上尾中央腎クリニック	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	大澤 優希	透析機械室における無人監視システム　ニプロ社製　IoT保守サービスDiaXrsを導入して
	第50回日本血液浄化技術学会学術大会・総会	演題発表	原 一晃	ニプロ社製IoT保守支援サービスDiaXrs®の導入～機械室モニタリングとしての有用性～
	第15回埼玉アクセス研究会学術集会	座長	高津 智行	異なる透析用留置針による穿刺アプローチの工学的評価
	第44回CMS学会	演題発表	高橋 千音	ニプロ社製IoT保守支援サービスDiaXrs®の導入～機械室モニタリングとしての有用性～
桶川腎クリニック	第50回日本血液浄化技術学会学術大会・総会	演題発表	木崎 翔也	当院における透析用洗浄剤変更の取り組み
	第65回全日本病院学会in京都	演題発表	飯塚 忍	透析穿刺針の穿刺時痛及び警報発生頻度に関する比較評価
エイトナインクリニック	埼玉県透析アミロイド症web講演会	コメンテーター	島崎 沙由香	ディスカッション：各施設における透析アミロイドーシス治療の現状（β2吸着カラム）

臨床工学部

次世代リーダー研修実施報告

教育担当　東川口病院　臨床工学科　中村　渡

研修の概要

今回は主任職前の部員たちに招集をかけ、「3 ～ 5 年目研修」改め「次世代リーダー研修」として行いました。「3 ～ 5 年」という枠を取り払い、「次世代リーダー」に求められる、業務スキル、広い視野、物事の考え方を他施設の部員から知ることにより、自身のモチベーション向上に役立てていければと思い開催しました。

研修目的

他施設の業務内容、物事の考え方を知り、自身の仕事に対する考え方や姿勢を再確認すること。

研修の詳細

研修者にはあらかじめ 2 つの課題を提示しました。

第1課題では、「現在自分が任されている仕事」「今後取り組んでいきたいこと」をテーマにパワーポイントにまとめ発表してもらいました。

参加者からは「他の人のやってることや、やりたいことが聞けて次の目標等を立てやすくなった」「他施設の業務、雰囲気を知ることができたのはもちろん、同年代のスタッフが行っている業務、目標は自分自身のモチベーションアップにも繋がった」などの声を頂きました。

第二課題では「現場（チーム）をまとめる為に最も必要なものはスキルか？人間性か？」というテーマでディベートを行いました。

教育担当でスキル側と人間性側の2つにチーム分けを行い、自身の本来の意見と違った立場でも、意見を推してもらうようにしました。

結果はスキル派の勝利となりましたが、議論が交わされていく上でスキルも人間性も欠かせない要素なのだと知ることができたと思います。

アンケートでは「仕事をする上で、感情面も大切ですが、割り切って行う必要もあるので、根拠のある論理的な思考が必要だと感じました」「初めてのディベートで緊張しましたが、同じチームの人と意見を交わしたり、相手の意見にどう反論するかを考えたのがとても楽しかったです」など意見を頂き、とても有意義な研修になりました。

研修の感想　（参加者　東川口病院　山本 大輝）

今回の研修ではまず、第一課題として自施設で任されている事、今後の理想について資料を作成し発表しました。

資料作成にあたり自分の現状を振り返り、将来の展望を考える絶好の機会となりました。また、他施設のプレゼンを傾聴し同世代や他施設の動向を知ることができました。またそれに伴い、キャリアビジョンに対する自分の課題も浮き彫りになり、今後の業務へのモチベーションが高まりました。

第 2 課題のディベートでは、論理的に物事を説明することが不得意で、弁論には懸念を抱いていましたが、和気あいあいとした雰囲気でとても安堵しました。

ディベートを通し、瞬時に意見を考え相手に発信すること、また相手からの反論を多角的に捉え対処することを学び、組織の中間を担う存在として必要な能力を養うことができました。